



Training Academy

GHG研修

JRCA登録CPDコース
EMS/EMS GHG plus 対応

BSI資格
研修アジェンダ



温室効果ガス（GHG） 関連研修

BSIが提供する研修プログラムは、組織がネットゼロの達成に向けて踏み出す第一歩を支援します。温室効果ガスの排出源を理解することから始め、直接的または間接的な排出量のインベントリを確立し、定量化することで、ネットゼロへの道筋をたどり、カーボン削減のための計画と目標設定を可能にします。

環境マネジメントシステム（ISO 14001）

環境マネジメントシステム関連研修は、組織のネットゼロへの実施をサポートする環境マネジメントシステムの導入と運用に重点を置いています。環境に対する配慮が不十分だった場合に生じる関連リスクを認識することができます。

エネルギーマネジメントシステム（ISO 50001）

エネルギーマネジメントシステム関連研修は、エネルギーマネジメントシステムの導入と運用に重点を置き、組織のネットゼロに向けた実施を支援します。あなた自身が組織を支援するために何ができるか、またご自身の役割の重要性について学びます。

[ISO 14064-1 組織の温室効果ガス定量化及び報告のための規格解説研修](#) (JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

本研修では、GHGの測定・報告に関する基本原則を理解し、組織のGHG排出量を正確に評価するためのフレームワーク設計を学びます。さらに、データの品質管理や検証の重要性についても解説し、実践的な知識を提供します。

[カーボンマネジメント計画研修](#) (JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

本研修では、GHG排出量を管理し、気候変動リスクに対応するために開発された関連規格、ISO 14064、ISO 14068、ISO 14090 などの適用方法に焦点を当てています。

[ISO 14064-3 温室効果ガス-声明書の検証及び妥当性確認解説研修](#) (JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

本研修では、GHG声明書と報告書の検証および妥当性確認のプロセスを学び、組織のGHG排出量を正確に測定・報告するための枠組みの設計方法を理解します。

ISO 14067 製品カーボンフットプリント定量化解説研修 (JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

製品のカーボンフットプリント（CFP）の算定は、消費される製品のGHG排出量を削減していることを顧客に示したい組織にとって、ますます重要になってきています。

本研修では、組織が製品のカーボンフットプリントを算定できるようにするための学習を提供します。

- 製品のカーボンフットプリントを算定するための主要原則を理解する
- 製品のカーボンフットプリントを算定する手法を学ぶ

ISO 14068-1 気候変動マネジメント- カーボンニュートラリティ解説研修 (JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

本研修では、ISO 14068-1で規定されているネットゼロに向けた階層的な実施に沿って、カーボンニュートラルの主要原則と実践方法を学習します。

- カーボンニュートラリティに関連する重要な用語及び定義、ならびにプロセスについて知識を習得する
- カーボンニュートラルとネットゼロの違いと相互関係について学ぶ
- カーボンフットプリントのオフセット、報告、ネットゼロに向けた宣言書の作成などの重要な要求事項を理解する
- カーボンニュートラリティを達成するための活動計画を策定する
- どのような場合にカーボンオフセットが適切か、またカーボンクレジットの仕組みについて特定するための理解を得る
- カーボンニュートラリティに関する宣言の検証や妥当性確認の重要性を理解する



Greenhouse Gas (GHG)資格


GHG資格は、温室効果ガスの目標を達成するために必要な知識とスキルを個々人が保有していることの証明を提供します。

GHGプラクティショナー資格は、温室効果ガス削減計画に携わっている、あるいは携わることを目指している個人に適した資格課程です。

GHGプロフェッショナル資格は、温室効果ガスに関する知識を構築し、ネットゼロに向けた組織の道筋を支援します。

BSIの資格課程は、受講後にオンライン試験を受験いただくことで、GHG関連研修から習得した学びを検証します。

各GHG資格レベルの全研修課程を合格修了した段階で、下記より該当資格をご申請ください。



資格のご申請

GHG プラクティショナー



資格取得のために受講する研修（下記3種の研修を合格修了する必要があります）

- [ISO 14064-1 組織の温室効果ガス定量化及び報告のための規格解説研修 \(JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus\)](#)
- [カーボンマネジメント計画研修 \(JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus\)](#)
- [ISO 14064-3 温室効果ガス-声明書の検証及び妥当性確認解説研修 \(JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus\)](#)

開催形式：ライブオンライン

資格対象者例:

- ISO 14001 (EMS) やISO 50001 (EnMS) などの、関連分野や規格に関する知識と経験を有するGHG／カーボンマネジメント実務担当者、エンジニア、施設管理者
- カーボンマネジメント計画の支援に関心がある方、またはサポートが必要な方
- 政策アナリスト、コンサルタント、サステナビリティマネージャー
- 検証人、評価者、監査員、実務担当者



GHG プロフェッショナル

資格取得のために受講する研修（下記2種の研修を合格修了する必要があります）

- [ISO 14067 製品カーボンフットプリント定量化解説研修 \(JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus\)](#)
- [ISO 14068-1 気候変動マネジメント-カーボンニュートラルリティ解説研修 \(JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus\)](#)

開催形式：ライブオンライン

資格対象者例:

- 温室効果ガス (GHG) やカーボンの削減および管理の専門家であり、カーボンマネジメントプログラムの策定および実施を主導する方
- 部門長、プロジェクトリーダー、シニアコンサルタント
- 主任検証人、主任評価者、主任審査員、実施責任者



GHG資格の取得

BSIが提供するGHG資格は、各学習に対する試験を実施することにより資格取得希望者の学習を検証し、それぞれのレベルに応じたBSI GHG資格を獲得できるスキームに基づいています。GHGプラクティショナー資格課程は、3研修（4日間）、GHGプロフェッショナル資格課程は2研修（4日間）で構成されています。

試験の実施について

受講者には、研修日程の最終日から2営業日以内にオンライン試験が付与されます。オンライン試験は付与日より30日間有効です。適切な時間を選び、有効期限内に各自でご受験いただけます。

資格を取得する

試験を合格修了すると、有資格者の証となるBSI資格マークが発行されます。資格マークは、履歴書、LinkedInのプロフィール、Eメールの署名などに表示することができ、対外的にご自身の力量を証明するツールとなります。組織としては、より多くの従業員がBSI資格を保有していることで、事業の専門性が高まっていることを裏付ける証明として活用できます。

BSIのGHG資格取得に向けた研修プログラムを開始しましょう。

担当営業またはBSI教育事業部

(Japan.Training@bsigroup.com) まで、お気軽にお問い合わせください。

ステップ 1:

GHG プラクティショナー

ISO 14064-1 組織の温室効果ガス定量化及び報告のための規格解説研修 (JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

試験

カーボンマネジメント計画研修 (JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

試験

ISO 14064-3 温室効果ガス- 声明書の検証及び妥当性確認解説研修 (JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

試験



資格のご申請

ステップ 2:

GHG プロフェッショナル

ISO 14067 製品カーボンフットプリント定量化解説研修 (JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

試験

ISO 14068-1 気候変動マネジメントカーボンニュートリティ解説研修 (JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

試験



資格のご申請

ISO 14064-1

組織の温室効果ガス定量化及び報告のための規格解説研修 (JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

研修時間：1日 9:30-17:00

ISO 14064-1:2018 規格における主要な用語や定義、要求事項を詳しく学び、組織の温室効果ガス

(GHG) 排出量を正確に理解し、定量化する方法を習得します。この規格がどのようにしてGHG管理を効率化し、持続可能な取り組みに役立つかについても深く学習します。

アジェンダ

1. 連絡事項、コースの構成、自己紹介
2. コースの目的、学習目標
3. 気候変動及びISO 14060ファミリー規格について
4. 用語及び定義、原則
5. GHG報告のための組織境界の設定
6. 定義された境界におけるGHGインベントリの確立
7. GHG排出量の定量化
8. 影響の緩和
9. 品質マネジメント、報告及び検証

カーボンマネジメント計画研修

(JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

研修時間：2日間 9:30-17:00

本研修は、組織の技術専門家が包括的なカーボンマネジメント計画を策定するために必要な知識とスキルを習得できるよう設計されています。温室効果ガス (GHG) 排出量の削減及び除去に向けた科学的手法を活用し、今後予測される気候条件を考慮した、実行力のある計画を構築することを目指します。

アジェンダ

1. 連絡事項及び自己紹介
2. コースの構成、研修の目的及び学習目標
3. ISO 14064-1の簡単な復習及び本研修の紹介
4. トップマネジメントの賛同を得る
5. カーボンマネジメント計画実施チームの結成
6. トップマネジメントのコミットメントの実証及び評価
7. 計画を実行するためのマネジメントシステムの活用
8. GHG排出量の報告パート1 - GHGインベントリの境界の決定

ISO 14064-3

温室効果ガス-声明書の検証及び妥当性確認解説研修 (JRCA登録CPDコースEMS/EMS GHG plus)

研修時間：1日 9:30-17:00

組織の財務情報や非財務情報の透明性が求められる中、GHG（温室効果ガス）声明書や報告書が包括的で正確かつ一貫性を持つことの重要性が高まっています。本研修では、GHG声明書と報告書の検証および妥当性確認のプロセスを学び、組織のGHG排出量を正確に測定・報告するための枠組みの設計方法を理解します。

アジェンダ

1. 連絡事項、コースの構成、自己紹介
2. コースの目的、学習目標
3. 用語及び定義、原則
4. 検証及び妥当性確認における一般的なプロセス
5. 検証
6. 妥当性確認
7. 独立したレビュー、意見の提示、意見の提示後の新事実
8. 研修内容のレビュー及びまとめ

ISO 14067

製品カーボンフットプリント定量化解説研修 (JRCA登録CPDコース EMS/EMS GHG plus)

研修時間：2日間 9:30-17:00

温室効果ガス（GHG）排出量の削減に真剣に取り組む組織は、組織全体のカーボンフットプリントだけでなく、組織の製品から発生するカーボンフットプリントも定量化できるようになる必要があります。本研修では、組織が製品のカーボンフットプリントを算定できるようにするための学習を提供します。

アジェンダ

1. 連絡事項、コースの構成、自己紹介
2. コースの目的、学習目標
3. 気候変動とGHG排出量
4. ISO 14067の概要
5. GHG マネジメント及びカーボンフットプリント
6. CFP 及び部分的な CFP の定量化の方法論 (箇条 6)
7. ライフサイクルインベントリ (LCI): 分析
8. 箇条 6 続き
9. CFP調査報告書 (箇条 7) 及びクリティカルレビュー (箇条 8)
10. 研修内容のレビュー及びまとめ

ISO 14068-1

気候変動マネジメント-カーボンニュートラリティ解説研修 (JRCA登録CPDコース EMS/EMS GHG plus)

研修時間：2日間 9:30-17:00

本研修では、カーボンニュートラリティに関連する重要な用語や定義、カーボンニュートラルとネットゼロの違いやその相互関係、また、温室効果ガスの排出と除去をどのように定量化し、排出削減や除去を効果的に実施するかなど幅広いテーマについて学習します。

アジェンダ

1. 連絡事項、コースの構成、自己紹介
2. コースの目的、学習目標
3. 気候変動、国際的なメカニズム及び関連規格
4. ISO 14068-1 の用語及び定義、原則
5. カーボンニュートラルへの取り組み
6. カーボンニュートラリティマネジメント計画
7. カーボンニュートラリティの主張及び維持
8. 研修内容のレビュー及びまとめ

